

『秋のプランクトン観察講習会』を開催しました！

～プランクトン観察から琵琶湖の水環境保全の重要性を学ぶ～

R7. 12. 16

- 春のプランクトン観察講習会に引き続き、プランクトンに関する指導や研究に興味・関心のある方を対象とし、「秋のプランクトン観察講習会」を開催しました。
- 瀬田川（洗堰上流）の水を標本として顕微鏡で観察し、プランクトンの種類の同定や季節による比較を行いました。
- また、「淡水赤潮やアオコの原因種の同定法」や「生物多様性の意義」等について、講師の一瀬先生に講義をしていただきました。

日 時：令和7年11月19日（水） 13:30～15:30

場 所：ウォーターステーション琵琶 2階

講 師：一瀬 諭（いちせ さとし）先生

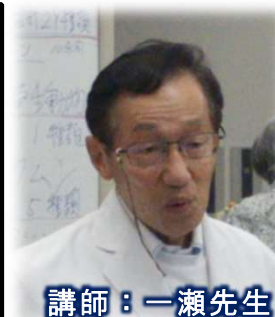
滋賀県琵琶湖環境科学センター元特命研究員

参加者：22名（スタッフ10名含む）

主 催：びわ湖・瀬田川プランクトン観察会実行委員会※

国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所

※ プランクトン観察の普及を目的とする専門家や一般住民等で構成される有志の会（代表：一瀬）



講師：一瀬先生



講習会全体の様子



同定したプランクトン種を書き込み、リストを作成

プランクトン観察結果（単位：種類）

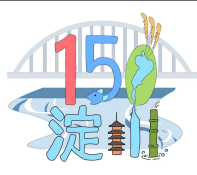
種類		瀬田川（洗堰上流）	
		前回（春）	今回（秋）
動物 プランクトン	原生動物	4	3
	ワムシ	11	8
	節足動物	1	3
	計	16	14

種類		瀬田川（洗堰上流）	
		前回（春）	今回（秋）
植物 プランクトン	藍藻	2	6
	珪藻	6	6
	鞭毛藻	3	5
	緑藻	10	13
	計	21	30

アオコの原因となる藍藻（ミクロキスティス）が増加

【参加者の感想】

- 春の観察会では見られなかったプランクトンが多かった。季節による種類の違いを実感した。
- 参加者同士でも専門的な土俵でディスカッションできる雰囲気があり、刺激を受けながらプランクトン観察を楽しむことができた。



国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所
〒520-2279 大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0844(代表)

【ホームページ】
事務所 アクア琵琶【X(旧Twitter)】
事務所 WS琵琶

流域治水

Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から